# 「心を育てて、みんなで元気に ワクワク授業！」

## ～ベートーヴェンの人生史（映像）を視聴し、皆で考え語り合い、「心が現実をつくる」ということを知る～

道徳　言語　音楽　社会　総合（キャリア）

- 実施日　令和２年１０月１１日（日）
- 実施校　寺島中学校　１年（１３５名選択）
- 講　師　音楽教室「アスパイア」の講師たち
- 内　容
  ① 映像とナレーションを視聴する。（途中でヴァイオリンとピアノの生演奏）
  ② ベートーヴェンの人生を通して様々な出来事（試練）とその時の気持ちをパネルボードを使って書き出し、ベートーヴェンの「闇の心」と「光の心」を知る。（グループ・ミーティングで気づき・発見したことを発表する）
  ③ 子どもたちの試練（新型コロナウィルス・友だち・親との関わりなど）をいくつかあげ、その時の気持ちをシートに書き出し、生徒自身の「闇の心」と「光の心」を知る。（グループ・ミーティングで気づき・発見したことを発表する）
  ④「光の心」で生きるならば、願いは実現できるということを、歌を通して知る。（ギターとヴァイオリンの伴奏で歌詞を深めながら聴く）

【生徒の感想文から】
- 今回の授業で心に残ったことは２つあります。１つ目はベートーベンの“試練は呼びかけ“という言葉です。試練が続くとあきらめようと思ってしまうけれど試練を呼びかけととらえるのが素敵だと感じました。２つ目は闇の心と光についてです。これからは私も光の心を意識していきたいです。
- 今回の授業を受けて、やみの心を持っていたらやみの人生、光の心を持っていたら光の人生となることが分かったので、ベートーベンのようにやみの心を光の心に変えて光の心を持ち続けていきたいです。そして、ベートーベンにあったような試練が起こっても試練の意味を考えたいです。
- “闇の心”“光の心“を紙に書きだすことで気持ちがすっきりしました。自分の２つの心をよく知ることで、光の現実が創り出されるのだと思いました。ベートーベンの「試練は呼びかけ」という考え方を大事にして試練や闇の現実を乗りこえられるようにしたいです。
- ベートーベンが大変な人生をあきらめない心で苦しみをのりこえた姿は、私に少し勇気をくれた感じがしました。私もベートーベンのようにあきらめない心で苦しみをのりこえていきたいと思います。
- 僕は今日、闇の心を知りました。なので光の心で調節していきたいと思います。
- 光の心と闇の心を人は全員持っていることも知りました。自分も闇の心を吐き、光の心をもってポジティブに考えていけるようにしていきたいです。
- ベートーベンが沢山の試練をのりこえる姿に感動しました。闇の心を表にすると光の心ができるので、このことを役立てて前向きに行こうと思いました。「Future」の歌詞がとても心に響きました。